

分類：医療・社会・行動科学 IV

授業科目名：人の死・死と法（Forensic Medicine） - 法医学・法医学実習 -

対象学年：4年次必修

時間割コード：71583010

開設学期等：第1週～第6週

単位数：1

1. 主任教員

早川 輝（教授、法医科学講座、6092、オフィスアワー：随時（要アポイント））

2. 担当教員

早川 輝（教授、法医科学講座、6092、オフィスアワー：随時（要アポイント））

大谷 真紀（助教、法医科学講座、6093、オフィスアワー：随時（要アポイント））

美作 宗太郎（非常勤講師、東北大学大学院医学系研究科法医学分野）

小湊 慶彦（非常勤講師、群馬大学大学院医学系研究科法医学講座）

高橋 識志（非常勤講師、弘前大学大学院医学研究科法医学講座）

佐野 利恵（非常勤講師、熊本大学大学院生命科学研究部法医学講座）

高橋 遥一郎（非常勤講師、筑波大学医学医療系法医学）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい

個体の死について理解し、異状死体の取り扱いについて理解する。また、死体検案について理解し、死亡診断書と死体検案書を作成できる。さらに、関連するプロフェッショナリズム（信頼、誠実、思いやり、省察、倫理）、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBMについて学ぶ。

概要

1) 死の判定、植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定について理解している。（1-1、2-1、2-7、3-1～3-4、3-7）

2) 異状死・異状死体の取扱いと死体検案について理解している。（1-1、3-2、3-3、3-4、4-2、4-5、4-6）

3) 死亡診断書と死体検案書を作成できる。（1-1、3-2、3-3、3-4、4-2、4-5、4-6）

4) 個人識別の方法を理解している。（1-1、1-2、4-3、5-1～5-4）

5) 病理解剖、法医解剖（司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖）を理解している。（3-2～3-4、4-2、4-5、4-6）

6) 関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBMについて説明・実践できる。（1-1、2-1～2-4、2-7、3-5～3-7、4-4、4-5、4-7、6-1、6-2）

4. 教科書・参考書

1) 池田典昭・木下博之編「標準法医学 第8版」医学書院（2022年）

2) 福島弘文監修「法医学改訂4版」南山堂（2022年）

3) 高取健彦監修「NEW エッセンシャル法医学 第6版」医歯薬出版（2019年）

4) 美作宗太郎監修「臨床法医学入門」明石書店（2017年）

5. 成績評価の方法

統一試験、その他（提出課題、死亡診断書・死体検案書作成実習で作成する書類）などにより、成績を評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

1) 講義では、実際の解剖事例・検案事例などを提示する。講義に使用された事例の口外、内容の撮影・録画、SNSを用いたWebアップロード等は厳禁とする。

- 2) 初回の講義には必ず参加すること。講義はおおよそ指定教科書に沿って進める。
- 3) 予習は特に必要ない。事前に、配布資料を用意することがある。講義に積極的な参加を求む。
- 4) 各講義後は配布資料で知識を整理し、教科書・参考書を確認するなどして、理解を深めること。
- 5) 担当教員の予定により、若干変更する場合がある。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	4月8日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：法医学総論 ・病理解剖、法医学解剖（司法解剖、行政解剖、死因身元調査法解剖、承諾解剖）を説明できる。 ・死の概念と定義を説明できる。 ・植物状態、脳死、心臓死及を説明できる。 ・医師の法的義務を列挙し、例示できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
2	4月8日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：死体現象 ・死体現象の種類を説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
3	4月11日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：損傷（1） ・外因死のうち損傷死について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
4	4月11日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：損傷（2） ・外因死のうち損傷死について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
5	4月15日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：損傷（3） ・外因死のうち損傷死について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
6	4月15日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：損傷（4） ・外因死のうち損傷死について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
7	4月18日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：窒息（1） ・外因死のうち窒息について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
8	4月18日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：窒息（2） ・外因死のうち窒息について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
9	4月22日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：内因性急死 ・内因死について説明できる。 ・突然死の定義を説明でき、突然死を来しうる疾患を列挙できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
10	4月22日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：異常環境 ・外因死のうち異常環境について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
11	4月23日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：法中毒学（1） ・外因死のうち中毒について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
12	4月23日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：法中毒学（2） ・外因死のうち中毒について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
13	4月25日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：個人識別（1） ・個人識別の方法を説明できる。	大谷 真紀	第2病棟多目的室
14	4月25日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：個人識別（2） ・個人識別の方法を説明できる。	大谷 真紀	第2病棟多目的室
15	4月30日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：死体検案・死後画像診断学 ・異状死の取扱いと死体検案を説明できる。 ・死後 CT 検査の概要・所見を説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
16	4月30日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：死亡診断書・死体検案書 ・死亡診断書と死体検案書を作成できる。 ・診断書、検案書、証明書（診断書、出生証明書、死産証書、死胎検案書、死亡診断書、死体検案書）を説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
17	5月1日 (水)	1-2 時限	実習	テーマ：死亡診断書・死体検案書作成実習（1） ・死亡診断書と死体検案書を作成できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
18	5月1日 (水)	3-4 時限	実習	テーマ：死亡診断書・死体検案書作成実習（2） ・死亡診断書と死体検案書を作成できる。	早川 輝	第2病棟多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
19	5月2日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：A B O式血液型 ・個人識別で用いられるA B O式血液型に関して、分子生物学的な機序を理解する。 ・トピックス（輸血医学への応用）	佐野利恵	第2病棟多目的室
20	5月2日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：死後画像検査 ・死後CT検査について、実際の事例紹介を通じて、理解を深める。	小湊慶彦	第2病棟多目的室
21	5月9日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：検案時の死体のみかた ・死体検案時に注意すべき死体所見について、実際の事例の紹介を通じて、理解を深める。	高橋識志	第2病棟多目的室
22	5月9日 (木)	3-4 時限	その他	テーマ：予備日 講義・実習の進捗状況により調整する。	早川輝	第2病棟多目的室
23	5月13日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：小児法医学 ・乳幼児突然死症候群（sudden infant death syndrome SIDS）を説明できる。 ・患者の死後の家族ケア（悲嘆のケア（グリーフケア））を説明できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
24	5月13日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：虐待 ・児童虐待を概説できる。 ・高齢者虐待を概説できる。 ・DV（Domestic Violence）を概説できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
25	5月16日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：死後遺伝子解析の法医診断への応用 ・死後の遺伝子解析の紹介を通じて、遺伝子解析が法医学にどのように利用されているかを理解する。	高橋遥一郎	第2病棟多目的室
26	5月16日 (木)	3-4 時限	その他	テーマ：予備日 講義・実習の進捗状況により調整する。	早川輝	第2病棟多目的室